

## 第 52 回東葛しぜん観察会

### 昆虫観察会「虫くんこんにちは」

青塚よし子(船橋市)

日 時：2009年7月26日(日) 10:00～12:30 天気：晴  
場 所：船橋金杉緑地～馬込霊園 講師：関 柳瀬  
参加者：大人 20名、子ども 12名 指導員 13名 合計 45名  
担当指導員：青塚よし子 塚原晃子 林 信子

梅雨の戻りのような空模様当日の天気も心配でしたが、心配の懸念もなく、素晴らしい天気恵まれての観察会でした。

観察の現場である金杉市民の森では、毎月1回「みちくさの会」の皆さんが手入れをされています。すべてを刈ってしまうのではなく、一部分は自然のままを残し、歩くところはチップを敷いてあり、ゆっくりと観察をすることができる場所です。「金杉市民の森」を出ると「谷津田を守る会」の人たちが金杉の残された谷津田をそれぞれ、池にしたり、ビオトープにしたり、工夫を凝らして、貴重な谷津田を守っており、それぞれ手の空いている時は作業に携わっているようです。

森を出て視界が開け、驚きの声も聞かれました。「谷津田って何ですか」とか「近くに住んでいたのに、このような所があったなんて初めて知りました」というお母さんもいました。若い親子さんの参加が多く、子供たちと同じ様な気持で楽しまれていました。水辺が多くあるため、オニヤンマも数多く飛び交うなかで、何回も歓声があがり、捕虫網があちこちから振り出され、外れてはまた残念の声があがり、親子で目を輝かせていました。

温暖化で見られるようになった“ナガサキアゲハ”や“ツマグロヒョウモン”など環境によって変化する様子や、虫の種類も多く性質の異なる虫の生態も易しく説明がありました。葉の外側から食べる虫、葉の葉脈から食べる虫、“ナナフシ”のように日本にはメスしかいないなど、講師の話に興味深く耳を傾けていました。

参加者の感想：

子供のころを思い出してとても楽しかった。  
船橋にこのような場所があることに驚いています。  
これを機会にたくさん自然に触れることを願います。



オニヤンマ 上♂ 下♀



森を抜けて谷津田を歩く